第1位は愛知県の合唱団 「聖霊高等学校聖歌隊」が受賞

~第36回宝塚国際室内合唱コンクール入賞団体 決まる~

宝塚市、(公財)宝塚市文化財団、宝塚国際室内合唱コンクール委員会は本日7月24日(土)に、宝塚ベガ・ホール(宝塚市清荒神1丁目2-18)において、36回目となる「宝塚国際室内合唱コンクール」を開催しました。昨年は新型コロナウイルス感染症の影響により中止しましたが、今年は観客を半分に制限、ライブ配信も実施し、2年ぶりの開催となりました。

例年は室内合唱に特化した国際コンクールとして開催していますが、未だ続く感染症拡大の影響により、 今年は国内合唱団のみの参加とし、演奏部門別ではなく、ジャンル不問、曲目不問、部門分けも無しの特別編として実施しました。現在もなお、多くの合唱コンクールが中止を余儀なくされています。国内各地から合唱団が集まる全国規模の合唱イベントとしては、コロナ禍以降に開催出来た数少ないコンクールと言えます。

審査の結果、18団体の中から下記のとおり入賞団体を決定いたしました。詳細は添付資料のとおりです。

【第36回宝塚国際室内合唱コンクール概要】

日時 2021年7月24日(土)10時開始(30分前開場)

会場 宝塚ベガ・ホール

参加団体 予備審査を通過した合唱団18団体

【入賞団体】 第1位 聖霊高等学校聖歌隊(愛知県)

第2位 Smile ♪(福井県)

第3位 Ohta Laboratory(東京都) 兵庫県知事賞(国内団体の最高位) 聖霊高等学校聖歌隊(愛知県)

宝塚市教育長賞(出場合唱団員の平均年齢が19歳以下の団体のうちの最優秀団体) 聖霊高等学校聖歌隊(愛知県)

宝塚市長賞(出場合唱団員の平均年齢が60歳以上の団体のうちの最優秀団体) 該当なし

添付資料:第36回宝塚国際室内合唱コンクール 結果資料 1枚

■本件に関するお問い合わせ先

担当: 浅井、岡田(宝塚ベガ・ホール 宝塚市清荒神1-2-18 水曜休館)

TEL: 0797-84-6192 FAX: 0797-84-9772

E-mail: vegahall@takarazuka-c.jp URL: https://takarazuka-c.jp/

愛知県の合唱団「聖霊高等学校聖歌隊」第1位を受賞

宝塚国際室内合唱コンクールは、合唱の原点といえる"少人数による室内合唱"の普及、また、音楽を通した国際交流の推進に資する目的で1984年から開催している、少人数編成の合唱団によるユニークなコンクールで、今年36回を迎えました。

今年は、感染症拡大の影響により、歌唱時の合唱団員同士の 距離を左右1メートル、前後2メートル取り、合唱団員はマスクをしたまま歌うなど、感染対策を講じて開催しました。

予備審査を通過した18団体のうち、審査の結果、第1位は聖霊 高等学校聖歌隊(愛知県)が受賞し、賞状ならびにトロフィー、さら



第1位 聖霊高等学校聖歌隊(愛知県)

に団員全員にメダルが贈られました。さらに、国内団体最高位に贈られる兵庫県知事賞、ならびに団員の 平均年齢が19歳以下の団体のうちの最優秀団体に贈られる宝塚市教育長賞も受賞しました。第2位には Smile ♪ (福井県)、第3位には Ohta Laboratory (東京都)が入賞しました。

表彰式では、本山秀毅宝塚国際室内合唱コンクール委員会理事長が「宝塚宣言」として、現在厳しい環境に置かれている「合唱」や「音楽」に関わることの価値は感染症拡大以前と変わることはなく、今後もそれぞれの合唱人の活動の場を通じ、さらに音楽の高みをめざそうと呼びかけました。また、表彰式の最後には、ベガ・ホールのシンボルであるパイプオルガンの伴奏で、表彰式出席者全員で「鷗(かもめ)」(木下牧子作



本山理事長の指揮で「鷗」を演奏

曲)をハミングで歌いました。これは詩人・三好達治が第二次世界大戦直後に発表したもので、鷗には戦争により亡くなった若者の姿が投影され、また抑制された戦争下から解放された自由への強い思いが描かれているといわれています。新型コロナウイルス感染症により亡くなられた方々への鎮魂と、音楽という自由を取り戻そうとしている合唱人へのエールの気持ちを込め、コンクールを締めくくりました。

■宝塚宣言(全文)

われわれ「共に声を合わせて歌うこと」を愛する者たちが、今日、この場に集い、育んできた音楽を披露し、お互いがその価値を認め合う時間を持つことが出来たことを心から誇りに思い、また共に喜びたいと思います。

時代は、われわれが想定し得なかった状況に向かい始め、そのことによって音楽は、かつてない厳しい環境に置かれています。しかしこの状況下であっても「音楽」、そして「声を合わせて歌うこと」、またそれらに関わることの価値は、些かも損なわれることなく微動だにするものではありません。

一日も早く、以前のような豊かな歌声が皆さんの周囲を満たし、そしてこのコンクールが遠く海外の 合唱人をも加えて発展することを心から願います。

今日われわれがこの場で新たにした思い、大切だと感じた事柄を今一度胸に留め、継承するために力を尽くし、今後、われわれがこのコンクールの場、そしてそれぞれが関わる合唱活動の場を通して、さらに音楽の高みを目指そうではありませんか。

本山 秀毅(宝塚国際室内合唱コンクール委員会理事長)

■審査員(五十音順)

洲脇 光一(合唱指揮者)、向井 正雄(合唱指揮者)、本山 秀毅(合唱指揮者)

【主催】 宝塚市・(公財) 宝塚市文化財団・宝塚国際室内合唱コンクール委員会

【後援】兵庫県·宝塚市教育委員会·全日本合唱連盟·朝日新聞社·NHK神戸放送局 兵庫県合唱連盟·宝塚市国際交流協会·宝塚合唱連盟